

# 摂食・咀嚼・嚥下機能における口腔機能の考え方と その対応法について

社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

診療部長 いと 糸 だ 田 まさ 昌 たか 隆

高齢の方々にとって、生活の基本である栄養摂取に関わる問題である摂食困難や摂食・嚥下障害、その対応法である食支援やリハビリテーションは、考え方や対応法を間違えると、誤嚥性肺炎をはじめとし、その他疾患発症を助長し、重要な医学的対応法の一つとなりつつあります。

また、高齢者の方々の死亡原因においては誤嚥性肺炎を含む肺炎が高位にみられるようになり、社会的にも重要な対応課題であることが認識されつつあります。

昨今、成人・高齢者の多くの方々における摂食困難や摂食・嚥下障害は、口腔から上咽頭部にかけての口腔機能低下や機能障害が診られた結果、生じることが明らかになりつつあり、まさに歯科的な知識や対応が重要となります。

今回、当院での食べられなくなった方々への食べるためのリハビリテーション（摂食・嚥下リハビリテーション）や歯科治療、大阪府介護予防事業での活動から、人の日常生活における口腔機能の考え方や口腔機能低下への対応方法の一考をお話したいと思います。

ご聴講いただきます先生方の明日からの日常臨床の一助となりましたら幸いです。